

根室市地域公共交通確保対策協議会 令和4年4月1日設置

概要



根室市は北海道の最東端に位置し、人口23,546人（令和4年12月末現在）、総面積506.25km²で、東西に広がる細長い地形となっている。当市の人口は、昭和41年の49,896人をピークに減少を続けており、高齢化率は35.1%（令和2年国勢調査）と、今後さらに高齢化の深刻化が予想される。

市の公共交通は、根室交通株が運行する8路線のバスをはじめ、スクールバスや都市間バスの他、タクシー事業者が3社、運転代行業者が4社、介護タクシーが2社となっている。人口減少等の影響から、バス利用者数は減少傾向となっており、今後も現在のバス路線網を維持することは困難な状況となっている。現在のバス路線網では、市全人口の約8割程度をカバーしており、特に市内東部地区では、バス路線が運行していない交通空白地域も存在するなど、市民の生活移動手段の確保に加え、新たな交通形態による地域にとって望ましい公共交通体系の構築が求められている。

○地域公共交通の現況

- ・JR花咲線
- ・スクールバス（9路線）
- ・根室交通（市内8路線）
- ・根室ハイヤー、中央ハイヤー、ホクトタクシー 等

○地域公共交通の課題

- ・交通サービス維持のための財政負担や運転手不足
- ・人口減少に伴う継続的な利用者の減少
- ・交通空白地帯や交通弱者対策など、市民生活の交通手段確保

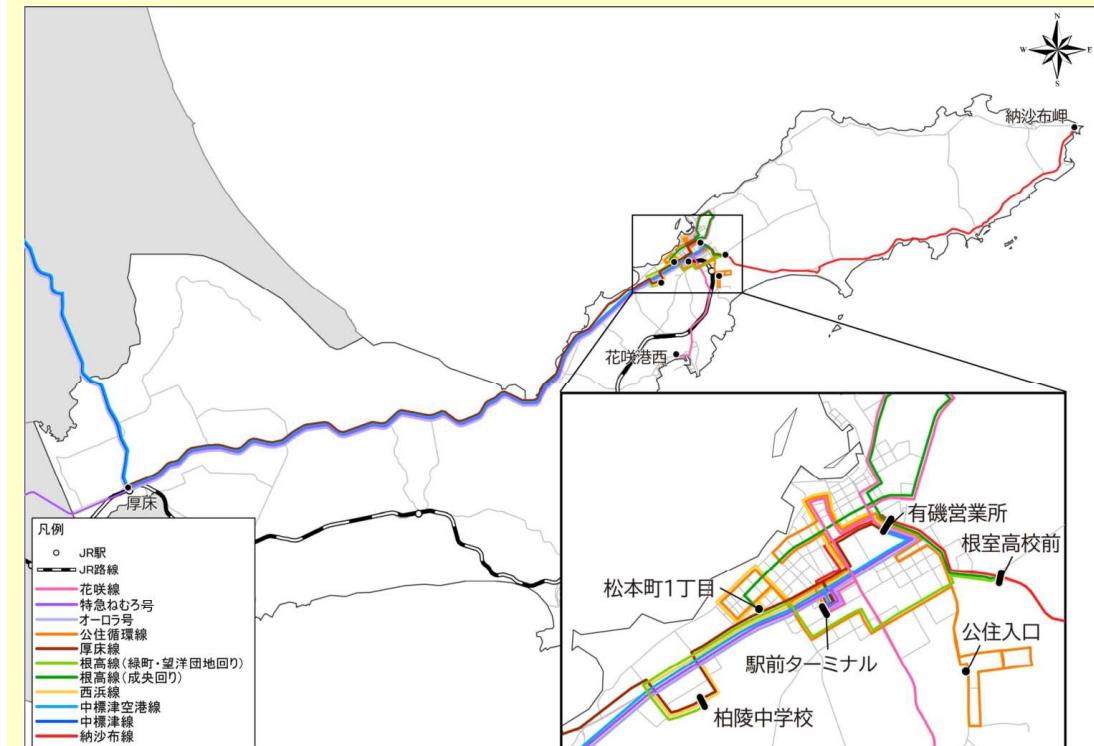
○調査の主な内容

- ・地域における市内バス路線の乗降調査実施
- ・地域住民のニーズ調査（アンケート調査、事業者ヒアリング）

○地域公共交通開催状況

- 令和4年4月1日 第1回協議会（書面会議）
・規約の制定、部会の設置、事業計画案、収支予算案
令和4年9月27日 第2回協議会を開催
・根室市の現況、今年度実施内容の確認

公共交通の概要



根室市地域公共交通確保対策協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

1 地域内の公共交通に関する現況調査

①調査目的

既存のバス路線等の輸送手段の利用状況を把握し、今後の継続的な確保・維持の必要性について把握するため、路線バスの乗降調査等を実施する。

②実施概要

(調査対象)

【乗降バス停のカウント調査】

乗降者数合計653人

調査員によるアンケート配布・回収の際に調査員による記録を実施

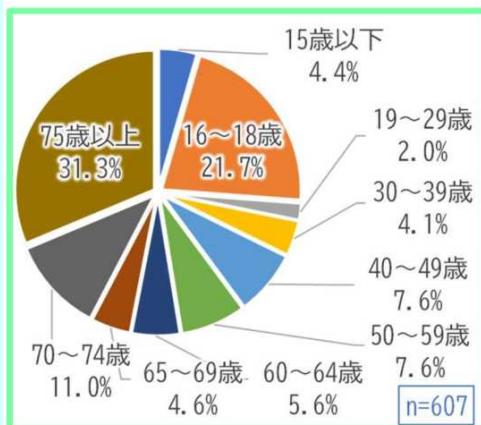
【アンケート調査】

配布数 623票 回収数588票(調査拒否35票)に関しては年齢、性別、乗降バス停のみ調査員が目視で記録)

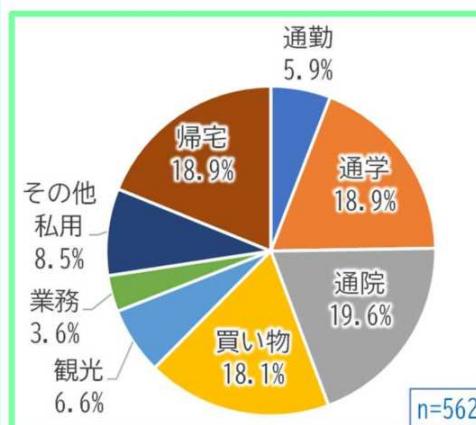
アンケート調査結果から、市街地を走る路線は通勤・通院・通学・買い物等の生活に係る目的で使われており、利用頻度も週に1回以上利用の割合が全路線で半数を超えており、日常生活を送るために重要な路線である。

バスに改善してほしい内容として便数やバスの大きさ等が挙げられていることから、通勤・通学ピーク時の輸送能力が不足している状況が想定され、ニーズにあわせた運行形態が求められている。

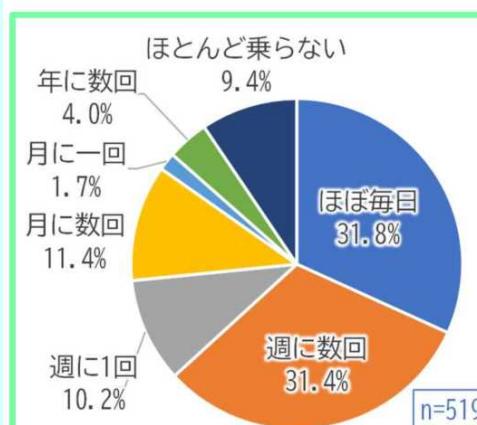
年齢



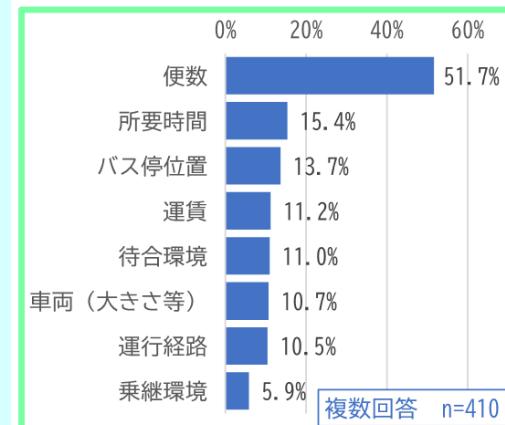
利用目的



利用頻度



バスの改善要望



根室市地域公共交通確保対策協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

2 アンケートによる地域住民のニーズ調査

①調査目的

根室市民の公共交通を含めた生活交通の実態や公共交通の住民ニーズを把握し、
住民の生活交通を効率的に確保する地域公共交通計画 立案の基礎データを収集する。

②住民アンケート調査対象

根室市民3,000世帯(世帯ごとに2票配布)

回収数(回収率) : 901世帯(30.0%) 1,237票回収

③調査項目

回答者属性/外出行動について/買い物時の交通について/通院時の交通について/
私用時の交通行動について/路線バス・予約運行型バスについて

④調査結果

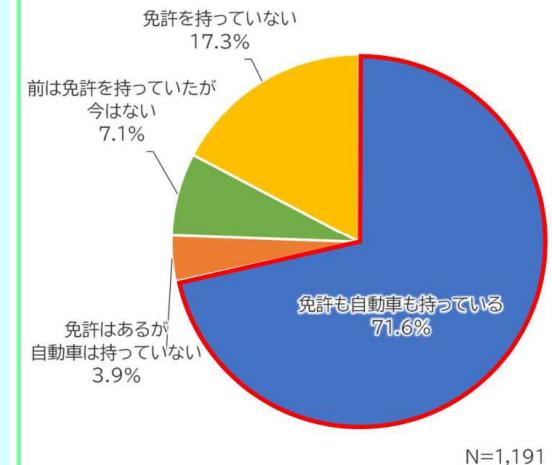
- 回答者のうち、免許も自動車も持っていると回答した割合が71.6%と、自家用車に依存
- 運転免許・自動車ともに保有の回答者中、運転中に危険を感じると回答した割合は78.1%
- 運転が困難になった際にはバス、タクシーを利用する意向はあるが、免許返納した場合には買い物・通院に困ると回答している。
- スマートフォンは72.5%が所持しており、電話・メールの利用率が高く、情報の確認・発信は抵抗感がない
- 免許返納した際の買い物・通院を心配する割合が高い。年齢が増すごとに通院の頻度は高くなり、家族の送迎やバス、タクシーを利用している割合が高い
- また、年齢が増すごとに病院送迎バスが運行された際の利用意向が高くなっている、通院の足を確保する必要がある

3 市民意見交換会(2月中に実施予定)

①調査目的

- アンケート結果や乗降調査からみられた課題や要望等を紹介しながら、新しい交通への転換の可能性など、
地域ニーズに応じた望ましい交通体系を目指すため、市民から意見を得る。

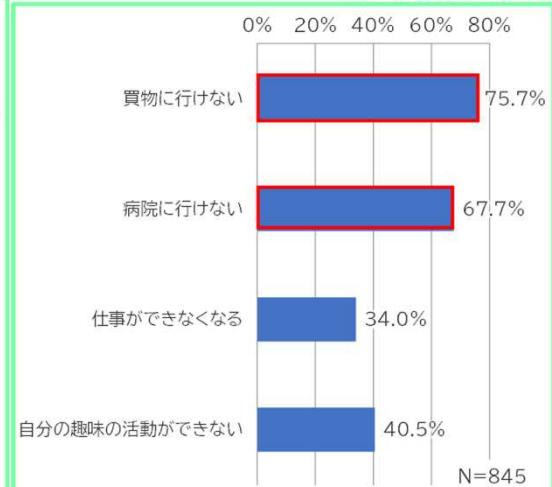
免許所持状況



免許返納した場合に困ること

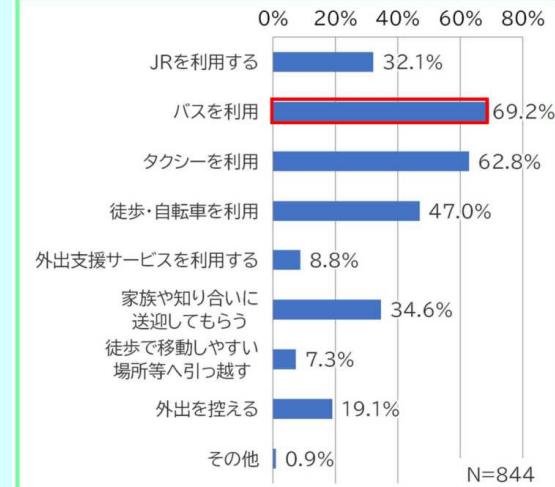
複数回答

免許も自動車も持っている方のみ回答



運転が困難になった際の移動手段

免許も自動車も持っている方のみ回答



根室市地域公共交通確保対策協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針



根室市地域公共交通確保対策協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

基本目標1:市内の公共交通体系の見直しによる移動の足の確保・維持

- ①市街地の路線の見直しやICT技術を活用した予約運行型バスの運行など、新たな公共交通体系の検討
- ②郊外線のニーズに即した新たな運行ルートや選択と集中による運行形態等の見直し検討
- ③乗降環境の改善による安全で安心な環境の構築(商業施設・医療施設の公共交通乗降環境の改善、広域交通との接続性に配慮した運行時間や乗り継ぎ環境の改善)

基本目標2:広域交通に係る公共交通の確保・維持

- ④JR花咲線・都市間バスの維持に向けた改善方策の検討⇒市内線の乗継との連携
- ⑤利用の少ない路線の存廃も含めた見直し検討

基本目標3:観光振興と公共交通の一体性の確保

- ⑥企画乗車券や観光施策による利用者の確保(JR花咲線における観光振興施策の継続と新たな取り組みの検討、路線バス等に係る予約運行や1日乗車券などICT技術を活用した持続可能な公共交通体系の構築、JR花咲線と場路線の相乗効果に資する一体的な利用促進)

基本目標4:利用者と運転手の確保等による持続可能な公共交通体系の維持

- ・総合的な情報発信によるJR花咲線、路線バス、タクシーなどの利用者数の確保による公共交通サービスの維持(バスマップや公共交通チラシの作成など)
- ・AIデマンド交通、MaaS、バスロケーションシステムなど、ICT技術の活用による効率的で効果的な輸送体系の検討
- ・住民や交通事業者、観光関連事業者との意見交換会や説明会等による継続的なニーズ把握と改善方策の検討
- ・高齢者の免許返納に資する割引制度など、利便性の高い公共交通サービスの継続・検討

●事業実施の適切性

事業実施は、適切に実施したと評価しており、事業者との協議を計画策定時より行ってきたことで、次年度より事業が円滑にできることが予想される。

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

- ・事業は、計画どおり実施されている。
- ・引き続き事業の完了に向けて取り組んでいただきたい。
- ・今後、地域公共交通計画策定の際は、公共交通事業の収支率や公的資金投入額などの事業効率の改善等についても検証していくことをご検討いただきたい。